



●【命の重さについて考える！】

智翠館特別コースでは、4月に探究学習の成果を発表する『学び祭』という行事がありますが、そこで発表された内容の一つを掘り下げて、さらに現場の医師の方（実は保護者でもある）をお招きして、命の重さについて考える講演をしていただきました。さらに講演の後にはワークシートを用いて、生徒たち一人一人が自分の意見をしっかりと形成し、互いに意見交換をしながら、多様な考えをあらゆる方向から分析する多面的思考と、独善に陥らない寛容かつ公正な精神の大切さを学びました。何かのテーマについての問いを見つけたとき、様々な文献を紐解き、ネットなどのメディアや対面での討論などで他者の考えや意見を探り、それらを分析したうえで、論点や課題を明確にし、自分のオリジナルの考えや意見を形成して、今後の生き方や行動に繋げていく道筋は、学生の探究活動も医療の現場で行われていることも同じだということに、生徒たちは気づいて、学びの本質に触れた有意義な時間となりました。



★研修から学んだこと・感想・・・

●社会（公共）の時に、安楽死・尊厳死について教えてもらったけど、今回また改めて理解することができました。また、私は賛成の立場でいたけど、反対派の人の意見を聞くと、確かにそうだなと納得することもありました。自分ひとりの意見だけではなく、周りの意見を聞いて考察することも、再来年の探究学習（学び祭）につながるので勉強になりました。もし自分の周囲の人が安楽死を望んだ場合、自分にできることを考えていこうという意識を持つことができました。

●安楽死について議論するにしても、簡単に「賛成」とか「反対」とか言うことは難しいということがわかりました。また討論するときに、感情を入れずに論理的に考えないといけないんだなと思いました。これからは討論をするときには感情に流されず論理的に考えようと思いました。

●他の人の意見を聞くと、意外と自分の意見と違う人が多くて、いろんな意見を取り入れることは、新しい考えを得たり、重要なことが多いので、何かを考察したりするときに、必要なことだと思いました。2年生とかとも、安楽死に賛成か反対かと意見を交換出来てさらに悩まされました。実際にいろんな経験のあるお医者さんに直接聞くことができて、夢を選ぶいい経験になりました。

●安楽死とは何か？、まず死とは何かいまいち分からなかったけど、だいぶ分かった気がします。それだけではなく、探究学習に役立つことや、自分が調べたことのまとめ方や、先生の経験から参考になることも聞けたので、とても良い経験になりました。自分の将来は、あまり医学に関係がないですが、人と関わる仕事に進もうと思っています。やはり、相手が「人」なので、難しいこともあって、落ち込んだりすると思いますが、しっかりやっていこうと思いました。

●安楽死という言葉は知っていたけど、安楽死について勉強したのは、今まで公共の授業だけだったので、お話を聞いたことで安楽死のことを少しでも多く知ることができて良かったです。自分は安楽死は、最初は賛成派だったけど、みんなが議論しているのを聞いてみると、どっちか分からなくなってきたので、本当に難しい問題なんだなと思いました。

●安楽死は授業では習いましたが、深く考えたことがなかったので、他学年と一緒に考えることができて良かったです。安楽死に賛成か反対かという議論もあり、僕はどちらか決められず、発表できませんでした。その理由として、自分が本当に苦しいときには賛成しますが、親が苦しんでいるときには、たとえ「死にたい」といったとしても、長生きしてほしいと思うから決められないなと思いました。